

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	岡山県立大学
設置者名	公立大学法人岡山県立大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
保健福祉学部	看護学科	夜・通信	4		12	16	13	
	栄養学科	夜・通信			12	16	13	
情報工学部	情報通信工学科	夜・通信			12	16	13	
	情報システム工学科	夜・通信			12	16	13	
	人間情報工学科	夜・通信			12	16	13	
デザイン学部	デザイン工学科	夜・通信			12	16	13	
	造形デザイン学科	夜・通信			12	16	13	
(備考) 令和2年度以前入学生分								

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
保健福祉学部	現代福祉学科	夜・通信	4		12	16	13	
	子ども学科	夜・通信			12	16	13	
デザイン学部	ビジュアルデザイン学科	夜・通信			12	16	13	
	工芸工業デザイン学科	夜・通信			12	16	13	
	建築学科	夜・通信			12	16	13	
(備考) 令和3年度新設学科分								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

大学ホームページにおいて、実務経験のある教員等による授業科目の一覧表を公表している。

<https://www.oka-pu.ac.jp/guide/page-15433/page-353/page-355/>

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	岡山県立大学
設置者名	公立大学法人岡山県立大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<a href="https://www.oka-pu.ac.jp/">https://www.oka-pu.ac.jp/</a> (岡山県立大学ホームページアドレス)
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社山陽新聞社 代表取締役社長	2023. 4. 1 ~ 2025. 3. 31	経営担当
非常勤	岡山県企業と大学との 共同研究センター センター長	2024. 3. 31 ~ 2025. 3. 31	社会連携・国際担当
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	岡山県立大学
設置者名	公立大学法人岡山県立大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<p>本学では授業計画(シラバス)を作成し、これを公表している。</p> <p>シラバスでは、授業概略や目的等の授業概要、各授業回数における学習内容、授業評価における到達目標と知識、技能、思考等の評価の観点、定期試験やレポート等成績評価の方法と基準などを定めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教務学部専門委員会において共通教育科目・学部教育科目決定(概ね12月)</li> <li>・教務学部専門委員会において各科目のシラバス作成依頼(概ね12月)</li> <li>・各担当教員においてシラバス作成(2月下旬から3月中旬)</li> <li>・公開は、学内では全学情報システム、学外はホームページに4月初旬に掲載する。</li> </ul>	
授業計画書の公表方法	<a href="https://www.oka-pu.ac.jp/syllabus/2024/index.html">https://www.oka-pu.ac.jp/syllabus/2024/index.html</a>
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<p>『岡山県立大学学位規程』  <a href="https://www.oka-pu.ac.jp/kiteidata/act/frame/frame110000080.htm">https://www.oka-pu.ac.jp/kiteidata/act/frame/frame110000080.htm</a>            『岡山県立大学履修規程』  <a href="https://www.oka-pu.ac.jp/kiteidata/act/frame/frame110000079.htm">https://www.oka-pu.ac.jp/kiteidata/act/frame/frame110000079.htm</a>            『履修案内』(刊行物)  <a href="https://www.oka-pu.ac.jp/guide/page-15433/page-353/page-910/">https://www.oka-pu.ac.jp/guide/page-15433/page-353/page-910/</a></p> <p>本学では、岡山県立大学学位規程を設け、本学において授与する学位について必要な事項を定め、また、岡山県立大学履修規程を設け、授業科目とその履修方法を定め、これらを適切に実施している。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 『グレート・ポイント・アベレージ (GPA) 制度』(『履修案内』(刊行物))</p> <p>本学では、成績評価の基準としS、A、B、C (以上合格)、D (不合格) であらわしている。Sは100点から90点でシラバスの到達目標の全てをほぼ完全に達成している。Aは89点から80点でシラバスの到達目標をほぼ完全に達成しているが、若干不十分な点もある。Bは、79点から70点でシラバスの到達目標を相応に達成しているが、不十分な点や誤りがある。Cは69点から60点でシラバスの到達目標の最低限のレベルに達している。Dは59点以下でシラバスの到達目標に十分達しておらず、さらなる学習が必要である。</p> <p>GPAは、上記の5段階評価を4から0までの数値に置き換え (S : 4、A : 3、B : 2、C : 1、D : 0)、これに修得単位数を乗じて、その和を履修登録単位数の合計で除した数値であり、学期ごとの成績等を、学修達成度の評価及び学習指導等に使用している。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p><a href="https://www.oka-pu.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2024/05/2024_risyuuanannai-1.pdf">https://www.oka-pu.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2024/05/2024_risyuuanannai-1.pdf</a></p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 『ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針)』</p> <p>本学では、ディプロマ・ポリシーを全学、各学部、各学科 (専攻) の各段階で定め、それぞれに応じたカリキュラム・ポリシーを定めてこれを公表し実施している。</p> <p>また、岡山県立大学学位規程を設け、本学において授与する学位について必要な事項を定め、また、岡山県立大学履修規程を設け、授業科目とその履修方法を定め、これらを適切に実施している。</p> <p>(全学 : 全文)</p> <p>本学は、建学の理念である「人間尊重と福祉の増進」の実現に向け、人間・社会・自然の関係性を重視した研究と教育を行うことによって、地域との深い連携のもとに実学を創造し、もって知性と感性を育み、豊かな教養と深い専門性を備えた新しい時代を切り拓く人材を育成します。</p> <p>卒業要件を満たすことにより、次の能力や態度・意欲を身に付けた者に学位を授与します。</p> <p><b>A. 【豊かな教養】</b> 人間・社会・自然の理解を通じて、人生の各局面において課題を発見し解決できる、高い倫理観と豊かな人間性に立脚した幅広い教養を身に付けている。</p> <p><b>B. 【高度な実学の専門性と実践力】</b> 専門分野で活躍できる高度な知識、技能と、それを実社会で主体的に活用できる論理的思考力、判断力、実践力を身に付けている。</p> <p><b>C. 【協調性をもってグローバル化する社会で活躍し、学び続ける態度・意欲】</b> 少子高齢化やグローバル化の進む現代社会において、世界とのつながりを考えて多様な人々と協働することにより、地域社会に貢献できるコミュニケーション能力を身に付けるとともに、継続的に自己を研鑽する態度・意欲を身に付けている。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p><a href="https://www.oka-pu.ac.jp/guide/page-15433/page-374/">https://www.oka-pu.ac.jp/guide/page-15433/page-374/</a></p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	岡山県立大学
設置者名	公立大学法人岡山県立大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://www.oka-pu.ac.jp/guide/page-162/page-195/page-281/">https://www.oka-pu.ac.jp/guide/page-162/page-195/page-281/</a>
収支計算書又は損益計算書	〃
財産目録	-
事業報告書	〃
監事による監査報告(書)	〃

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称: )	対象年度: )
公表方法:	
中長期計画(名称: 第3期中期計画)	対象年度: 2019~2024 )
公表方法: <a href="https://www.oka-pu.ac.jp/guide/page-162/page-195/page-216/">https://www.oka-pu.ac.jp/guide/page-162/page-195/page-216/</a>	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: <a href="https://www.oka-pu.ac.jp/guide/page-162/page-195/page-216/">https://www.oka-pu.ac.jp/guide/page-162/page-195/page-216/</a>
---

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: <a href="https://www.oka-pu.ac.jp/guide/page-162/page-195/page-267/">https://www.oka-pu.ac.jp/guide/page-162/page-195/page-267/</a>
---

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 保健福祉学部、情報工学部、デザイン学部
教育研究上の目的 (公表方法： <a href="https://www.oka-pu.ac.jp/guide/page-15433/page-342/">https://www.oka-pu.ac.jp/guide/page-15433/page-342/</a> )
(概要) 教育研究上の目的については、学則第 3 条第 6 項において定めており、これを公表している。(別紙 1)
卒業又は修了の認定に関する方針 (公表方法： <a href="https://www.oka-pu.ac.jp/guide/page-15433/page-342/page-30886/">https://www.oka-pu.ac.jp/guide/page-15433/page-342/page-30886/</a> )
(概要) 『ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)』(別紙 2) 本学では、ディプロマ・ポリシーを全学、各学部、各学科(専攻)の各段階で定め、それぞれに応じたカリキュラム・ポリシーを定めてこれを公表し実施している。 また、岡山県立大学学位規程を設け、本学において授与する学位について必要な事項を定め、また、岡山県立大学履修規程を設け、授業科目とその履修方法を定め、これらを適切に実施している。 (全学：全文) 本学は、建学の理念である「人間尊重と福祉の増進」の実現に向け、人間・社会・自然の関係性を重視した研究と教育を行うことによって、地域との深い連携のもとに実学を創造し、もって知性と感性を育み、豊かな教養と深い専門性を備えた新しい時代を切り拓く人材を育成します。 卒業要件を満たすことにより、次の能力や態度・意欲を身に付けた者に学位を授与します。 <b>A.【豊かな教養】</b> 人間・社会・自然の理解を通じて、人生の各局面において課題を発見し解決できる、高い倫理観と豊かな人間性に立脚した幅広い教養を身に付けている。 <b>B.【高度な実学の専門性と実践力】</b> 専門分野で活躍できる高度な知識、技能と、それを実社会で主体的に活用できる論理的思考力、判断力、実践力を身に付けている。 <b>C.【協調性をもってグローバル化する社会で活躍し、学び続ける態度・意欲】</b> 少子高齢化やグローバル化の進む現代社会において、世界とのつながりを考えて多様な人々と協働することにより、地域社会に貢献できるコミュニケーション能力を身に付けるとともに、継続的に自己を研鑽する態度・意欲を身に付けている。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法： <a href="https://www.oka-pu.ac.jp/guide/page-15433/page-342/page-30888/">https://www.oka-pu.ac.jp/guide/page-15433/page-342/page-30888/</a> )
(概要) 『カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成・実施の方針)』 本学では、カリキュラム・ポリシーを全学、各学部、各学科(専攻)の各段階で定め、ポリシーに基づき科目編成と授業の実施を行っており、カリキュラム・ポリシーを公表している。 (全学：全文) 本学は、学位授与の方針に掲げる能力や態度・意欲を有する人材を育成するため、共通教育科目、学部教育科目並びに教職教育科目を設けています。特に、地域との深い連携のもとに実学を創造するため、共通教育科目と学部教育科目からなる副専攻を

設置しています。本学は、学位授与の方針に掲げる人材を育成するため、次のような教育課程を編成しています。

**【共通教育科目】**

共通教育科目では、豊かな教養を育むとともに、協調性をもってグローバル化が進む地域社会で活躍できる能力を育成するため、次の科目群を編成しています。

修学基礎科目群 人文・社会科学科目群 自然科学科目群 健康科学科目群 語学国際科目群 複合 PBL 科目群 社会連携科目群

**【学部教育科目】**

学部教育科目では、各学部において課程ごとに定められた方針により、高度な実学の専門性と実践力を育成するための科目を編成しています。

**【教職教育科目】**

教職教育科目では、教育課程を設置している学科において、教育力を育成するための科目を編成しています。

入学者の受入れに関する方針

(公表方法：<https://www.oka-pu.ac.jp/exam/page-15832/page-3335/>)

(概要)

『アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）』

本学は、保健福祉学部、情報工学部、デザイン学部の3学部からなり、「人間尊重と福祉の増進」を建学の理念として、平成5年に設立されました。

本学は、建学の理念の実現に向け、人間・社会・自然の関係性を重視した研究と教育を行い、豊かな人間性と教養を兼ね備え、深い専門性をもって主体的に課題発見・解決に取り組むことにより、グローバル化が進展する中、地域社会から広く国際社会において活躍し、新しい時代を切り拓くための能力と意欲を有する人材の育成を目指します。

人材育成の方針に基づき、本学での学びに適う能力及び素養を、入学者が備えるべきものとして、以下のとおり定めます。

本学は、学生に高等学校において主体的で継続的な学習により幅広い分野での基礎学力を身につけていることを求めるとともに、これらの知識に基づく論理的な思考力や表現力、基礎的な英語力を含めたコミュニケーション能力ならびに人間性や倫理観などの素養を磨いておくことを求めます。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<https://www.oka-pu.ac.jp/guide/page-15433/page-344/>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	4人	—					4人
保健福祉学部	—	25人	27人	3人	13人	0人	68人
情報工学部	—	18人	17人	0人	9人	0人	44人
デザイン学部	—	15人	15人	1人	4人	0人	35人
教養部	—	0人	0人	1人	0人	0人	1人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長				学長・副学長以外の教員			計
0人				0人			0人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： <a href="https://gdata.oka-pu.ac.jp/">https://gdata.oka-pu.ac.jp/</a> （岡山県立大学ホームページアドレス）					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
教育開発センター内にFD部門を設け、相互授業参観、授業改善意見交換会、授業改善アンケートなどを企画・実施している。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
保健福祉	140人	148人	105.7%	560人	586人	104.6%	0人	0人
情報工	140人	158人	112.9%	560人	612人	109.3%	0人	0人
デザイン	90人	93人	103.3%	360人	379人	105.3%	0人	0人
合計	370人	399人	107.8%	1480人	1577人	106.6%	0人	0人
(備考)								

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
保健福祉	139人 (100%)	7人 (5.0%)	128人 (92.1%)	4人 (2.9%)
情報工	112人 (100%)	35人 (31.3%)	73人 (65.2%)	4人 (3.6%)
デザイン	86人 (100%)	10人 (11.6%)	69人 (80.2%)	7人 (8.1%)
合計	337人 (100%)	52人 (15.4%)	270人 (80.1%)	15人 (4.5%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）

学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
保健福祉	143人 (100%)	137人 (95.8%)	4人 (2.8%)	2人 (1.4%)	0人 (0%)
情報工	141人 (100%)	103人 (73.0%)	20人 (14.2%)	18人 (12.8%)	0人 (0%)
デザイン	93人 (100%)	75人 (80.6%)	13人 (14.0%)	4人 (4.3%)	1人 (1.1%)
合計	377人 (100%)	315人 (83.6%)	37人 (9.8%)	24人 (6.4%)	1人 (0.3%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)  
『シラバス』（授業科目、授業内容、授業計画に関すること）  
<https://www.oka-pu.ac.jp/syllabus/index.html>

本学では授業計画（シラバス）を作成し、これを公表している。  
シラバスでは、授業概略や目的等の授業概要、各授業回数における学習内容、授業評価における到達目標と知識、技能、思考等の評価の観点、定期試験やレポート等成績評価の方法と基準などを定めている。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)  
『岡山県立大学学位規程』  
<https://www.oka-pu.ac.jp/kiteidata/act/frame/frame110000080.htm>  
『岡山県立大学履修規程』  
<https://www.oka-pu.ac.jp/kiteidata/act/frame/frame110000079.htm>  
『履修案内』（刊行物）  
<https://www.oka-pu.ac.jp/guide/page-15433/page-353/page-910/>

本学では、岡山県立大学学位規程を設け、本学において授与する学位について必要な事項を定め、また、岡山県立大学履修規程を設け、授業科目とその履修方法を定め、これらを適切に実施している。

学部名	学科名	卒業に必要な 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
保健福祉学部	看護学科	132単位	有 無	56単位
	栄養学科	128単位	有 無	56単位
	現代福祉学科 (R3年度～)	124単位	有 無	56単位
	子ども学科 (R3年度～)	124単位	有 無	56単位
情報工学部	情報通信工学科	124単位	有 無	48単位
	情報システム工学科	125単位	有 無	48単位

	人間情報工学科	1 2 4 単位	有・無	4 8 単位
デザイン学部	デザイン工学科	1 2 4 単位	有・無	4 8 単位
	造形デザイン学科	1 2 4 単位	有・無	4 8 単位
	ビジュアルデザイン学科 (R3 年度～)	1 2 4 単位	有・無	4 8 単位
	工芸工業デザイン学科 (R3 年度～)	1 2 4 単位	有・無	4 8 単位
	建築学科	1 2 4 単位	有・無	4 8 単位
G P A の活用状況 (任意記載事項)		公表方法 <a href="https://">https://</a>		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法 <a href="https://">https://</a>		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

<p>公表方法： 公立大学法人岡山県立大学概要 2023 <a href="https://www.oka-pu.ac.jp/guide/page-1550/#大学概要">https://www.oka-pu.ac.jp/guide/page-1550/#大学概要</a></p> <p>教学関連設備等 (大学 HP) <a href="https://www.oka-pu.ac.jp/organization/page-3189/">https://www.oka-pu.ac.jp/organization/page-3189/</a> 総合情報推進センターでは、全学の学生が利用できるよう情報処理演習室を開放している。(PC48 台、PC44 台の 2 部屋のいずれか。) 開放の時間内は、利用者からの PC 操作の問合せに対応できる TA を配置。</p> <p>(大学 HP) <a href="https://www.oka-pu.ac.jp/organization/page-2449/page-2214/">https://www.oka-pu.ac.jp/organization/page-2449/page-2214/</a> 学生の英語に係る自主学習の支援として、多読用書籍貸出し、e-Learning 教材提供、スピーキング指導、TOEIC L&amp;R IP テスト希望者の学内受験等を実施している。</p>
---

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
全学部	全学科 (岡山県内)	535,800 円	188,000 円	0 円	
	全学科 (岡山県外)	535,800 円	282,000 円	0 円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>『アドバイザー制度』            学生が豊かで安心した大学生活が送れるように、教員が学生一人ひとりの担当アドバイザーとして学修面と生活面の支援を行う制度である。            基本的には入学時から卒業まで、担当アドバイザーは継続する。            相談内容によって、相談機関等を紹介する場合もある。            相談内容：履修登録、学修相談、休学・退学、進路、人間関係、健康面、ハラスメント等のトラブル等</p>
b. 進路選択に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>学生が気軽に就職相談できる就職支援担当職員を「キャリア・就職相談室」に常駐しているほか、各学科にも専門分野の就職活動に関する相談ができる就職担当教員を配置し、希望に応じた支援をおこなっている。</p>
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>新入生、オリエンテーションや健康診断の際、学生相談室のチラシカードを配布し、周知している。また、学生支援コーディネーターを配置し、支援の必要な学生に対して、教員と相談室のカウンセラーが連携して対応する体制を整備している。</p>

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

<p>公表方法：<a href="https://www.oka-pu.ac.jp/guide/page-1550/#教育年報">https://www.oka-pu.ac.jp/guide/page-1550/#教育年報</a>            本学においては毎年度「教育年報」を作成しており、また、これをホームページで公表している。</p>
---

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	F133210109510
学校名 (〇〇大学 等)	岡山県立大学
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	公立大学法人岡山県立大学

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		170人	157人	175人
内訳	第Ⅰ区分	92人	90人	
	第Ⅱ区分	50人	40人	
	第Ⅲ区分	28人	27人	
	第Ⅳ区分	人	人	
家計急変による支援対象者（年間）				-
合計（年間）				176人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号、第4号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	人	人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	-	人	人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に連続して該当	-	人	人
計	-	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	16人	人	人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人	人	人
計	16人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。